

平成26年1月22日

平成25年度 第2回学校関係者評価書

南アルプス市立若草小学校
校長 秋山 光永

〔会議日時〕 平成26年1月16日（金）午後7時～午後8時30分

〔会議場所〕 若草小学校 校長室

〔出席者〕

・学校関係者評価委員7名

内田 秀男さん（下村地区自治会長） 戸栗 主税さん（上村地区自治会長）
志村 郁造さん（下今井地区自治会長） 佐藤 友江さん（主任児童委員、学校評議委員）
名執 玲子さん（元若草中教員、学校評議委員） 田中 睦男さん（PTA会長、学校評議委員）
珠未都菜穂子さん（PTA副会長、学校評議委員）

・学校教職員3名

校長 秋山 光永 教頭 相原 真治 教務主任 時田 直人

1 学校からの説明事項

（1）第2回学校評価、各アンケートの集計結果について

- ①児童アンケート内容及び集計結果について
- ②保護者アンケート内容及び集計結果について
- ③教職員アンケート内容及び集計結果について

2 意見交換

<意見の集約>

※ 3者のアンケートに関わるまとめ

○ 学習指導面

- ・ 家庭学習については、なかなか定着が難しいものだと考えられる。学校からの課題の出し方を工夫したり、保護者が子どもの宿題に目を向けたりしないと、家庭学習の習慣は身に付かないのではないかと。家庭学習強化週間だけでなく、毎日の取り組みが大事になる。
- ・ 今の子どもは学習塾や習い事、スポーツ少年団などに通っていることが多いと思う。時間的な制約もあるだろう。それはそれとして、まず学校でしっかり学ぶ態度で、力をつけられる子どもになってほしい。

○ 生活指導面

- ・ いじめや不登校の問題は、起きてからでは手遅れである。早めに、状況を把握することが大切である。学校でも、各学期毎いじめに関するアンケートを取り、児童から情報を得るようにしているとのこと。日頃から子どもの様子をよく観察し、職員同士で情報交換したり、保護者の協力を得たりすることも、大切なことである。問題については、担任一人で悩みを抱え込まないように、職員皆で対策を講じていただきたい。

- ・ 児童用アンケートで、「先生が自分たちのことを大切にしてくれていると思う」の肯定的評価が99%は大変すばらしい。学校として、特に取り立て子ども達との良好な関係を築く行事などは仕組んでいないとのことだが、児童理解の上に立ち、毎日の授業や休み時間・放課後の児童との関わりなど、今後とも大切にしていってほしい。
- ・ 6年生の指導の大変さは、主に生活指導面にある。行事等に追われる中で、じっくり児童に向き合うことが難しい面もあるが、多くの職員が6年生の児童に関わる努力をしている。担任だけでなく、本校の子どもは自分が担任という意識で、気が付いた時にはその場で指導したり、褒めてやったりしたい。

○ その他

- ・ 夏場の暑さ対策として、エアコンの設置を要望したい。年々暑さが厳しくなる中で、子ども達が授業に集中できるように、予算的な厳しさは重々承知しているが、何とかエアコンの設置を実現させてほしいというものである。学校やPTAとしても、関係機関に働きかけをし要望を出している。
- ・ 教職員の記述にもあったが、生活指導面について、小中の連携をお願いしたいという要望があった。互いに情報交換をして理解を深め、今後の指導に生かすことも必要なことだと思われる。問題を起こす生徒は、どこで方向を間違えてしまったのか。保護者との連携を図る、早期発見と早期対応など、大きな問題になる前の予防策を進めていきたい。
- ・ 下今井地区の子どもは、登下校に相当の時間を要する。特に、低学年生にとっては大変さが想像できる。残念ながら、市バスの要求は実現できなかったが、通学路を整備したり、安全を確保したりしてもらえたらと思う。
- ・ スキー教室等、野外での活動が実施できないかとの要望があった。授業時数の確保といった課題もあり、難しい面もある。
- ・ 家庭の経済的な問題により、子どもの貧困が生じてきていることも稀ではない。学校や地域に於いても状況把握に努め、場合によっては必要な措置を講じなければならない。

以上、平成25年度第2回学校関係者評価委員会の報告である。各委員さん方から、望ましい児童の育成をめざし、また、よりよい学校作りに向けてのさまざまな意見交換がされた。本日の会が今後の教育活動に活かされるよう、職員一同力を合わせて頑張っていきたい。